たぶんかきょうせいすいしんいんかい へいせい ねんだい かい いんかいようてんろく
多文化共生推進委員会 平成26年第2回委員会要点録

【日時】 平成27年2月6日(金) 18:30~20:30
【場所】 八王子スクエアビル11階 学生交流室・国際交流室
【出席者】 委員 ◎森茂委員、岡添委員、児野委員、シュレスタ委員(途中退席)、館山委員、
谷川委員、張委員、平野委員、吉本委員、マダワラ委員、渡辺委員
事務局 市民活動推進部 大野部長、多文化共生推進課 平本課長、
同課 櫻井主査、同課 石川主任

【欠席者】 関委員

【公開・非公開の別】 公開

【傍聴人の数】 0人

【配付資料】 ・平成26年度第2回 八王子市多文化共生推進委員会 次第
・資料1 多文化共生推進プラン各所管の取組み管理シート(新様式案)
・資料2 留学生のみなさまへ(奨学生の募集)

1. 開会

- ・配布資料の確認

2. 多文化共生推進プラン取組み管理シート(新様式案)について

座長

それでは、多文化共生推進プランの1年目の取組みについて、事務局から御説明願いたい。
※事務局より「資料1 新様式案について説明。前回の様式からの変更点について説明。

— 意見交換 —

座長

大きな変更点は、2つ。1つは自己評価を行う際に、5年間の目標を見据えて、どこまで達成しているのか評価すること。2つ目は、事業予定の年度を明確にすること。

委員

「今後5年間の取組み・目標に対する自己評価」「今後の事業予定」の「今後」は、どのような意味か。5年間は移動していくのか。まともに読むと年度がずれていく。

事務局

プランは平成25年度から5年間で見直しをする予定なので、29年度までの事業予定になる。

分かりにくいので、「今後5年間～」「今後の方針」「今後の事業予定」の「今後」は、削除する。

座長

各所管に照会を出した時に関連所管からは何か様式や書き方について意見が出たのか。

事務局

様式や書き方について特に意見は無かった。

委員

このページだけを見直すのか。

事務局

今回の資料は様式案になるので、1ページしか配布してないが、全てのページを見直す。

委員

難しいと思うが、自己評価をする際に、数値がいくつからいくつは「順調」というような目安があったほうが良いのではないか。定量化するのは難しいと思うが、何か目安を作ったほうが良いのでは。出来る施策と出来ない施策があると思うが。

事務局

数値目標があるものは、ある程度の目安は出来るかと思うが、数値が無いものも各所管に任せるのではなく、所管と意見交換をして、当課も責任を持って評価に関わっていく。

座長

市の他のプランで目安や基準を作っているところはあるか。あるようであれば他のプランなどを参考にしたい。

事務局

良いか悪いかで言えば悪いと思うが、行政では漠然とした計画が多いのでこのようになっている。

委員

自己評価だけではなく、サービスを利用する外国人市民からの評価は難しいか。難しいとは思いますが、それがあるとだいぶ締りがある。

事務局

通常、各所管で満足度調査を行っている。それぞれの事業の担当で調査をしてもらう。その評価と自己評価が離れないようにしなければならない。この委員会でも自己評価がおかしいようであれば言ういただき、それを各担当に伝えていく。

委員

多文化共生推進委員会での委員の評価、意見はどこに出るのか。

事務局

多文化共生推進委員会での評価は、各所管に伝え、評価は修正している。前回の委員さんの意見はそのまま伝え、修正している。

委員

自己評価は、委員会の評価を含めたものを市の評価として出すのか。

事務局

最終的に委員さんの評価を所管に伝え、多文化共生推進委員会の評価を踏まえて公表するようになる。

委員

進捗度と満足度調査はリンクするものとなるだろうが、時間差が出てずれてしまう。

事務局

プランの見直しを5年の時点で考えており、その際に外国人市民に対するアンケート調査等を考えている。一つ一つの施策ではなく、大まかな調査になるとは思います。意識調査が一つの指標になる。

座長

それでは、いろいろ御意見もあると思うが、次の事項に移る。前回の委員会での意見について、事務局から御説明願いたい。

※事務局より「前回の委員会での意見、要望に対する対応について説明。」

委員

災害時に多言語情報を発信している市もあるが、八王子市では何か案はあるのか。地震が来た時の情報等を発信できたら良い。

事務局

現在、平常時において多言語版ホームページ、多言語メール配信サービス、多言語モバイル、フェイスブックなどでの情報提供を行っている。災害が起きてすぐ対応出来るわけではないが、災害時でもこれらを活用して情報提供が出来る。

座長

神奈川の国際協会では登録している外国人にメールで情報を出す仕組みがある。

委員

日本語を翻訳しないとメールで配信出来ないのでは、時間がかかる。災害が起きてすぐの対応は難しいと思う。

事務局

先日、八王子学生発表会があって、その中で留学生に対する情報提供の提案もあった。今、資料がないので、はっきりと話せないが、市の中でも話しは出ていて検討している。

座長

いろいろ御意見もあると思うが、次の事項に移る。では、奨学金制度について事務局より御説明を。

3. 市の施策について（意見交換会）

※事務局より「資料2 奨学金制度について説明。奨学金の制度についてまたは奨学生の地域貢献活動について意見をいただきたい」

がいくこくじんりゅうがくせいしやうがくきん ◎外国人留学生奨学金について

座長

目的と金額の問題が大きい。大学の奨学金は、留学生に勉学に励んでもらうための奨学金になる。一人年額12万円で勉学に励むのは難しいのではないかと。色々のところから意見が出ているということだが、誰からどのような意見があるのか。

事務局

賛成意見、反対意見等様々な意見があるが、ここでは、反対される方の意見では「公開抽選はどうなのか。」「成績優秀者を選ぶべきではないのか。」「日本人でも貰えない人がたくさんいる。その中で、比率の問題として外国人の70人は多い」「外国人留学生はお金があるのではないかと。本当に奨学金が必要なのか」などの意見がある。

委員

他の奨学金は、どれくらいの金額を貰っているか。

事務局

新宿区では同じ1万円。大学等民間では高額のところもあるが、成績等条件が厳しくなる。

委員

月に1万円貰ってどうなのか。目的に合っているのか？成績が優秀な人は他の奨学金に流れてしまうのではないかと。

事務局

八王子市の奨学金は、1年生でも貰えるというのが特徴だ。成績にすると2年生からになってしまい、1年生から貰えなくなってしまう。1万円はわずかかもしれないが、何かと出費の多い1年生にとっては大きいという意見がある。

事務局

大学にアンケートを取って、16大学中10大学は金額が少ない、6大学が妥当であるという結果だった。色々な意見はあるが公平に色々な人にチャンスがあるのでありがたい制度だという意見もあった。

委員

約束を守っていない(年2回ボランティアをやる)留学生はいるのか。約束を守らなかった場合のペナルティはどうなるのか。

事務局

年2回ボランティアに出なかった場合は、返還になる。現段階では、90%ぐらいの学生が2回参加している。大学の窓口からの働きかけや市からも呼びかけている。

座長

奨学金の目的が大学とは違う。広く集め、地域活動にも参加してもらい、あわよくば市内の企業にも就職してもらいたいという意図がある。他に奨学金の制度について何か意見があればお願いしたい。

委員

1万円でもイベントに参加してもらえ、1万円でも人数が集まるのならばこのままでも良いと思う。留学生は、1万円でも工夫して使うと思う。留学生は奨学金を貰ったことを履歴書にも書けるし、それなりに頑張ってくれるのではないかな。

委員

目的がポイント。大学がやる奨学金ではないので、八王子のため、市民のためになることを優先すべき。出来るだけ多くの人が受給出来るようにしてほしい。地域貢献活動に関わってもらえる制度は、国際協会にとってもありがたい制度であり、是非続けてほしい。学生にとっても何か残るようにしてほしい。

委員

入学する前の学生に大学の案内等で奨学金の紹介等はしているのか？

事務局

留学生向けの情報誌に掲載している。大学では入学時の説明会等で奨学金の案内をしていただいている。

委員

受給者を1年生に特化するのはどうか。アピールの仕方として、1年生は引っ越しや生活費で
お金もかかるので、入学前にアピールすれば、大学にとってもメリットがある。

委員

留学生の皆さんは地域の活動に積極的に参加しているのか。

事務局

年2回の参加義務があるので、ノルマで参加している人が多いと感じる。

委員

ノルマで参加していても、地域と交流してもらいたいとおもっているので、来てもらえたら
嬉しい。3つ4つと参加してもらえたらいいと思う。

事務局

ノルマで参加している人が多いと感じているが、「参加してみたためになった」「交流が
楽しかった」という反応が多い。また、「昨年参加して楽しかったので今年も参加したい」と
いう留学生もいる。今年度も昨年奨学金を受給した留学生が地域貢献活動に友達を
連れてくることもあった。

委員

ボランティアは、ノルマでも出してもらった方がよい。日本人でも何をやるかよくわからないの
だから、積極的にならないのは当然だと思う。

委員

防災訓練に参加してきた学生は、積極的だった。ためになったという話を聞いている。この
制度は大変重要だと思う。参加者は喜んでいて多い。

委員

学生へのメッセージも「ノルマ」という言い方ではなく、「八王子市の奨学金を受給するとこ

これらのイベントにも参加できます」という積極的なメッセージの仕方をしたらどうか。
この中で、人気のあるイベントは何か。

委員

今年度は、総合防災訓練や町会の防災訓練の参加人数は多かった。3回行って延べ30人くらいは参加している。

委員

受給条件の在学・在住は厳しいのではないかと。八王子に住んでいて、他市の大学に通っている留学生も対象にしたらどうか。また、優先枠は、もっと柔軟にした方が良い。例えば弁論大会で入賞した人は、在居要件等の優遇をされても良い。学習の奨励なので、優秀な人にあげて欲しい。

座長

いろいろ御意見もあると思うが、次の事項に移る。では、事務局より御説明を
※事務局より「多文化共生意識の啓発（多文化共生フォーラムの報告含む）について説明。

◎多文化共生意識の啓発について

委員

外国又は外国人に興味を持つような内容が良い。先日、南大沢でフィンランドの人がフィンランドの紹介等の話をしていて、これぐらいの次元のほうが人が集まる。大きな会場ではなく、小さな会場で何度も行った方が良いと思う。「多文化共生とは何か」などのテーマではなかなか人は来ないのではないかと。

委員

ひな祭りなどの日本文化の紹介を身近な場所でやるのが良い。ホームパーティーのように小さな会場で親しみが持てるようなイベントが良い。

委員

先日、法政大学の教授に頼まれて、インタビューをされた。大学生から多文化共生について聞かれた。大学生は、大人の市民の声を聴くのも重要だが、留学生と交流するのが良い。留学生は、日本文化をもっと体験したいと思っている。大学生はすごく積極的だった。

委員

外国人の医療の現状について、法政大学の教授のゼミ生と意見交換した。今、困っていることなどを聞かれ、学童保育の情報をもっと多言語で発信したほうが良いと話した。若い人たちは、もっと積極的に異文化に触れたほうが良い。

委員

大人の行動変革をするには、例えば「親子で楽しむ…」などの題名で、親子で楽しめるイベント、映画等を行って、その後、多文化共生等のテーマでパネルディスカッション等を行う。また、一般の人が、興味を持ちそうなテーマを決め、例えば子育てと言う切り口で映画など見て、そこから外国の文化、考え方などの話を進めるのが良いと思う。

委員

2月1日に世界の人とふれあいタイムでアゼルバイジャンの人に話をしてもらって、約68人が来た。今までで一番来たのはドイツの人の話で約80人が来た。平均で40～50人ぐらいの人が来る。内容はゲストスピーカーに任せられているが、話をしてもらってからダンスを披露したり、お茶を飲んだりしている。ゲストスピーカーには日本語で話をしてもらっているの、日本人の参加者は気軽に参加出来るのではないかと。年齢層も幅広い。年間4～5回行って、今まで72回行っている。

委員

外国のことについて話を聞くことも広い意味で多文化共生に繋がるが、多文化共生というのは、意図的な意味がある。外国のことを知るのではなく、国内の異文化との共生という意味がある。

委員

町会の人に参加してもらおうのが良い。地元でどんな外国人が住んでいるのかも知らない。各自治会から2名出してもらおうなど、町会にお願いしたり、企業にお願いするのが良い。何かアメリも必要かと思う。外国人も近所に住んでいるという認識をしてもらうことが重要。

委員

学童で働いているが、多文化共生はよくわからない。やさしい中国語を教えている。子供は私を通して中国を知る。子供が「中国は嫌いだけど、先生は好き」と言ってくれる。

委員

多文化共生では面白くない。人が集まりそうなキャッチフレーズを考えたらい。先日の市が主催で JICA 多摩地区デスクが行った国際理解講座は良かった。人が集まりそうなキャッチフレーズを考えて中身で勝負。

事務局

外国人市民の方に参加していただくことも社会参加や地域参加に繋がる。

委員

先ほどの御意見にもあったが、漠然と多文化共生でやるよりも子育て等テーマを決めて、ターゲットを絞ったほうが良い。また一般の市民を対象とするのではなく、医師会、不動産関係等の人たちに絞って、多文化共生の意識が広がっていけば良いのでは。

最近、外国人と日本人をつなぐ多文化共生コーディネーターをどう育成していくのか。ということも大事になっている。東京外国語大学で講座を行っているが、国際協会や市が連携して出来れば良いと思う。

座長

今日の議題は以上となる。いろいろ御意見もあると思うが、次の報告に移る。では、事務局より御説明を。

4. 報告事項について（事務局より）

- ・多文化共生フォーラムについて
- ・教員向け国際理解教育ワークショップについて
- ・八王子・台湾高雄ユース交流コンサートについて
- ・無料専門家相談会について

※事務局より各チラシを基に説明

座長 【森茂委員】

これで本日の議題は、すべて終了した。御協力ありがとうございました。

5. 事務連絡

座長

最後に事務局より、事務連絡をお願いします。

※平成27年度第1回委員会の日程調整

・平成27年度第1回委員会の日程【平成27年7月3日（金）を予定】

6. 閉会

座長

【森茂委員】

本日の平成26年度第2回多文化共生推進委員会は、これで閉会する。御協力ありがとうございました。